

令和6年度アセスメントポリシー実施結果

1:目的 本校の DP・CP・AP の達成に向けた取り組みと成果を評価し改善につなげる。

2:評価内容・評価結果

1)客観的データ

① 就職率:	95%
(第1希望病院への就職者割合)	97.3%
保健師課程への進学	2.5%
② 関連3病院への就職率	70%
③ 国家試験合格率	100%
④ GPA(Grade Point Average)の結果	2.69
⑤ 進路変更等による退学者割合	6.25%

2)主観的データ

令和6年度卒業時、看護実践力到達度 自己評価結果			
看護師の実践力（4段階評価）		平均値	群の平均値
Ⅰ 群 ヒューマンケア の基本的能力	A.対象の理解	3.18	3.45
	B.実施する看護についての説明責任	3.24	
	C.倫理的な看護実践	3.67	
	D.援助的関係の形成	3.46	
Ⅱ 群 根拠の基づき、 看護を計画的に 実践する能力	E.アセスメント	2.98	3.22
	F.計画	3.23	
	G.実施	3.30	
	H.評価	3.23	
Ⅲ 群 健康の保持増 進、疾病予防、 健康回復の関 わる実践能力	I.健康の保持・増進・疾病予防	3.11	3.15
	J.急速に健康状態が変化する対象への看護	3.20	
	K.慢性的な変化にある対象への看護	3.19	
	L.終末期にある対象への看護	3.01	
Ⅳ 群 ケア環境とチー ム体制を理會し 活用する能力	M.看護専門職の役割	3.18	3.31
	N.看護チームにおける委譲と責務	3.20	
	O.安全なケア環境の確保	3.47	
	P.保健・医療・福祉チームにおける多職種との協働	3.50	
	Q.地域包括ケアシステムにおける看護の役割	3.08	
Ⅴ 群 専門職者として研鑽し続ける基本能力	R.継続的な学習	3.29	3.37
	S.看護の質の改善に向けた活動	3.41	
看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン別表13「卒業時の到達目標」参考（4段階評価）			

令和6年度卒業生2月ディプロマポリシー自己到達評価			
実践する力		平均	項目の平均
1	感じる力・考える力・伝える力・振り返る力を活用し思考しながら、看護を必要とする人々にとって最善な看護とは何かを創造し、実践につなげている。	4.0	3.97
2	実践した看護実践を振り返り、更により良い看護を探究する。	4.1	
3	状況に応じてアセスメントし、健康状態の変化、リスクを判断する。	3.8	
思いやる力			
1	自己を顧みて、ありのままの自分を受け入れる。	3.9	4.05
2	相手の立場に立って、相手の状況や感情を理解する。	4.2	
責任と役割を果たす力			
1	看護専門職者として、人の生命(いのち)をかけがえのないものとして尊重する。	4.8	4.63
2	看護専門職者として、あらゆる人の権利を尊重する。	4.7	
3	看護専門職者として、状況に応じて良識のある行動をとる。	4.6	
4	看護専門職者として、自己の力量に応じて判断し、その時の裁量を考えて行動する。	4.4	
地域社会に貢献する力			
1	地域における看護専門職者としての役割を理解する。	4.3	4.2
2	地域の特性を知り、その地域で暮らす人々の生活に適した健康支援の在り方について考える。	4.3	
3	地域における保険医療福祉チームの一員として情報交換する。	4.1	
4	多職種の機能、役割を理解し尊重する。	4.4	
看護を探究する力			
1	看護を取り巻くあらゆるものに関心を持ち続ける。	4.4	4.35
2	これまでの学校経験を踏まえて、自己の看護観を明確にする。	4.3	
		平均 4.29	

令和6年度 カリキュラムポリシー評価結果

	内容	学生	教員
1	1) 看護を、エビデンスをもって思考できるよう、形態機能学、病態生理治療論、看護方法の科目が関連付けて配置する。	3.55	3.08
	2) 看護実践力を身につけるために、難易度に応じて段階的に演習、実習を配置する。	3.6	3.54
	3) 知識と経験を関連付けて思考を深めるようアクティブラーニングを活用する。	3.53	3.23
2	他者を思いやる心を育てるために、様々な人との交流や活動の機会をつくり、自己理解・他者理解を深めるように支援をする。	3.48	2.85
3	1) 看護専門職者として倫理観を養うよう、学生間の体験を共有する機会をつくる。	3.28	2.85
	2) 看護専門職者としての自覚を育むよう、他者と協同した役割遂行を支援する	3.43	3.15
4	1) 地域の人々や暮らしを理解するよう、学習の場を拡大する。	3.54	2.85
	2) 地域で暮らす人々を支援するために、多職種連携教育を取り入れる。	3.26	2.15
5	安心して学べるように学生の意思や願いを尊重し、個々に応じた支援をする。看護者として成長していくために自己の経験を積み重ねながら振り返りを元に目標達成をするように支援する。	3.39	3.62
	※4段階評価		

- ・実施した結果は、年度末に本校ホームページに公表します。
- ・実施した結果は、教職員間および関係者に各種会議にて公表し、結果をもとに課題改善に取り組みます。